

かげの動きと太陽①

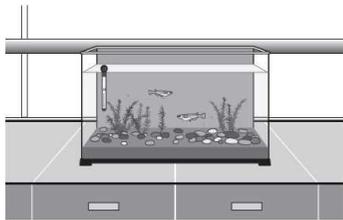
年

組

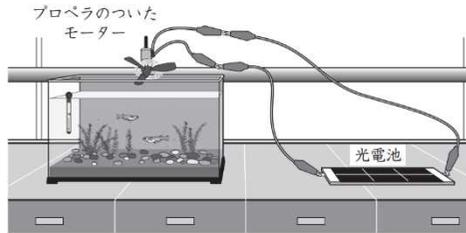
名前

H30 3 (4)

ひろしさんたちは、水そうでメダカを飼育することにしました。メダカの飼い方を本で調べると、水そうの中の水温は、30℃をこえないほうがよいと書いてありました。そこで、水そうの中の水温の変化を調べると、下のグラフのようになりました。



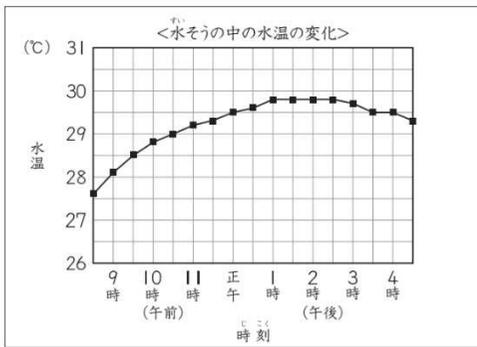
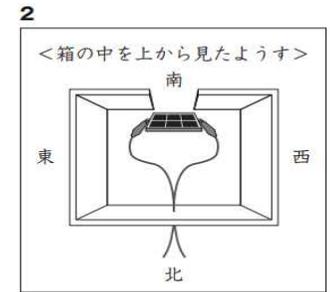
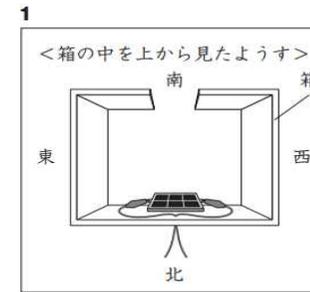
ひろしさんたちは、水温を下げるために、光電池で回るプロペラで起こした風を使うことにしました。



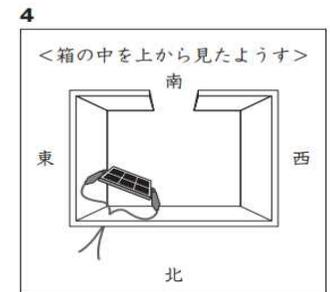
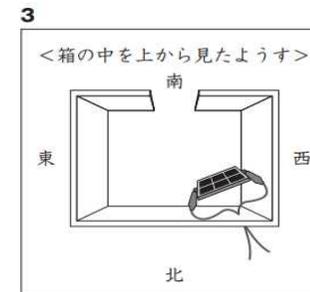
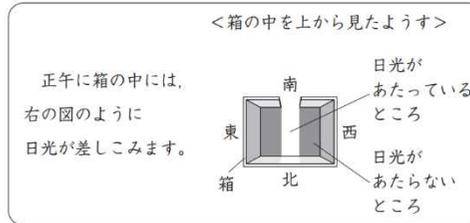
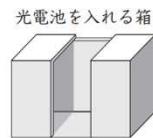
光電池の置き方を工夫して、午後1時ごろから午後3時ごろだけプロペラが回るようにできないかな。



(4) 午後1時ごろから午後3時ごろだけプロペラが回るようにするには、箱の中で光電池をどのように置けばよいと考えられますか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。



そこで、ひろしさんたちは、光電池を下のような切れこみの入った箱の中に入れて、日光のあたり方を調整することにしました。



暑い日だと30℃をこえそうなので、午後1時ごろから午後3時ごろの水温を下げるようにしたいな。



正午だと箱の中に、このように日光が差しこみ、日光があたっているところとあたらないところができるね。

